

4. BTC 研修修了者からのメッセージ

このコーナーは、BTCが行っている育成調教技術者養成事業の研修を終え、社会へ巣立っていった修了生が生産 育成界の現実を知りつつ、「強い馬づくり」への夢と期待を述べることを目的に開設しています。次世代を担う若者へ皆様から飛躍のためのエールをお願いいたします。

テイエムオペラオーを馴致育成して

第7期生 齊藤 充彦（賀張共同育成センター勤務）

私がBTCの研修を終え牧場に就職し何年かたちましたが、正直なところ研修を終えたばかりの頃と比べ自分自身の何が変わったかあまりわかっていません。騎乗や馬を扱う技術に多少の上達があるかもしれませんが、まだまだ自分が理想として目指している所にはたどり着いていないのが現実です。ただわかってきたことは、「この仕事にこれで満足という事が無い」という事です。だから大変なのですが逆にやりがいのある素晴らしい仕事だと思います。

私が今までこの仕事をしてきて、一番苦勞し、感動させてくれた馬がテイエムオペラオーです。1才～2才の馴致育成期に同馬に騎乗していましたが、殆ど毎日のように落とされていました。携わった馬が活躍することはうれしいことですが、特に苦勞させられた馬が活躍してくれるのはうれしさも増し、オペラオーが皐月賞を勝った時の感動は言葉では表現しきれません。

その後ダービーが終わり、オペラオーは休養のため再びやって来ました。

私は再びオペラオーに乗ることとなった訳ですが、G を勝った馬に乗るのはこの時が初めてで、私自身が緊張してしまい余計に暴れるようになっていきました。このとき「馬は乗っている人の精神状態に敏感だ」ということを馬から教わりました。このことはBTCの研修で最初に教

わったことではありますが、私がしっかりしないと馬を育てることはできないと痛感させられました。今はこれが一番大切なことだと思っています。

これからこの仕事を目指す皆さんは今持っている夢を大切にしてください。はじめの1年2年は上手いいかない事の方が多いと思います。しかし、そこでやめないでほしいです。経験を重ねることが上達する一番の近道だと思います。みんなで大きな夢を掴みましょう。私も負けないうように努力していきます。

(平成15年12月記)

観察することを大切に

第18期生 伊藤 公一 (グリーンウッド勤務)

BTCの研修を修了して、もう2年以上の月日が経とうとしています。馬に対して乗る事はおろか、触れた事すら無かった自分にとって1年間の研修生活は新しい体験の連続でした。

慣れない生活リズムや思うように技術が身に付かない事で、自分自身に対し、苛立ちや様々な葛藤もありました。しかし、毎日の訓練を必死についていくうちに、そんな不安も徐々に薄れて、貪欲に技術を吸収しようと気持ちが変わっていきました。あの1年間の中で、何事にも根気よく我慢強く向かっていく姿勢とあくなき向上心の大切さをBTCの研修で学んだような気がします。

牧場で2年間働いてみて、注意深く観察する事の大切さを改めて感じています。言葉の発しない馬は、私たちが行動する事で自己主張してきます。その行動の意味を理解する事は馬と人との距離を縮め、信頼関係を築く第一歩となり、また危険を未然に回避することにもつながります。馬だけに限らず、人を見る事も大切だと思います。牧場の先輩方の騎乗や仕事ぶりを目の当たりにすると、そこから考えさせられる事、気付く事が多くあり、自分がまだまだ未熟であると痛感することばかりです。

今後も様々な牧場関係者、馬の仕事に携わる方々に意見を聞き、知識と経験を積み成長していきたいと思います。

B T C の研修では、単に知識や技術を学べただけでなく、共に馬の世界で携わっていく仲間も得ることが出来ました。働く場所は違えども、お互いに励ましあい、刺激しあえる仲間がいる事は貴重な財産です。そのおかげで勇気づけられたり、助けられる事がたくさんありました。これからも、B T C 研修修了生の1人として研修生の皆さんと共に「強い馬づくり」に努力精進していきたいと思います。

(平成 15 年 12 月記)